



プロバスだより

第273号

東京八王子プロバスクラブ

創立 1995 年 10 月 18 日

<http://www.tokyo-hachioji-probusclub.jp>

編集・発行：情報委員会

2018～19年度 テーマ

語り合おう！そして楽しく豊かなクラブライフを！

定期総会・例会

日 時：平成 30 年 7 月 12 日 (木) 11:30～15:30

場 所：八王子エルシィ

出席者：53 名 出席率 86.8 %

(会員総数 64 名 休会 3 名 欠席 8 名)

会食とハッピーコイン披露

池田例会委員長の進行で会食に入り、飯田副会長からハッピーコイン 28 件の披露があった。

(5～6 ページに掲載)

第 22 回 定期総会

1. 開 会

池田例会委員長

第 22 回定期総会を開催します。(資料確認)

2. 会 長 挨 拶

馬場会長



新会長の馬場で
す。これから 1 年間
よろしくお願
いします。

まずは喜ばしいこ
とを二つ。最長老の
渋谷文雄会員が無事
退院され本例会に出
席されていること。

次に竹内賢治会員が

休会（研鑽）から復帰されたことであり、素晴らしい
ニュースです。

定期総会の挨拶としては、運営方針の中の予算関
連事項だけを述べます。本日審議して頂く予算案は、
会の運営は会費収入の範囲で行う事、ハッピーコイ
ン勘定を設ける事等を基本策にしています。

3. 議長選任

恒例により会長が議長を務め、馬場会長が議長席
につき、会員総数・出席者数を確認、本総会が有効に
成立したことを宣言し、議事に入った。

4. 書記・議事録署名人の選任

書記に高取和郎会員、議事録署名人に八木啓充
会員、河合和郎会員が選任された。

5. 議 事

議案は出席会員に配布されているので、議案の
項目のみを掲載する。

第 I 号議案 2017～2018 年度 事業報告

第 II 号議案 2017～2018 年度一般会計決算報告

第 III 号議案 2017～2018 年度活動準備資金特別
会計報告

第 IV 号議案 2017～2018 年 第 22 回生涯学習サ
ロン特別会計決算報告

前年度幹事、地域奉仕委員長からの議案説明、
引き続き監査報告、採決を諮り、第 I 号議案か
ら第 IV 号議案まで、一括審議、賛成多数で可決
承認された。次いで、

第 V 号議案 2018～2019 年度 一般会計予算 (案)

第 VI 号議案 2018～2019 年度 活動準備資金特
別会計予算 (案) について寺田幹事から説明が
あり、採決の結果、第 VI 号議案、第 VII 号議案は
賛成多数で可決承認された。

第 VII 号議案 入退会等手続きに関する細則の改定
内山前幹事が説明後、採決、可決承認された。

議案終了後、議長が動議として、「大野聖二会
員を名誉会員に推挙する」ことを付議し、採決
に諮り、全会一致で可決承認された。

6. 議長解任

7. 閉 会

第 273 回 例会

1. 開 会 池田例会委員長

第 273 回例会開催を告げ、配布資料の確認。

2. 来賓ご紹介・ご挨拶

東京八王子南ロータリークラブ
会 長 森田 貢士様
幹 事 神山 治之様

ご挨拶

森田貢士 会長



皆さま、今日は。ご紹介をいただきました南ロータリークラブの今年度会長を拝命した森田でございます。

日頃からの八王子プロバスクラブの地域貢献への活動に対して心

から敬意を表します。特に、子供たちに科学の心を育む宇宙の学校の事業は素晴らしいの一語に尽きます。今後とも、メンバーの皆さまには健康で元気に奉仕活動を続けて行って欲しいと思います。

3. 会 長 挨 拶 馬場会長

西日本の豪雨には心からお見舞いを申し上げます。一方当クラブの皆様は、暑さ厳しいこの夏の健康に十分ご留意ください。

本日は、南ロータリークラブ会長・幹事のご出席を頂き、祝辞を頂戴致しました。有難うございます。

以下に今年度運営方針を説明させていただきます。

* 運営方針

2018～19 年度は当クラブ創立 23 年目に当たります。我がクラブの活動は、地元八王子において次第に高く評価されてきており、また全国のプロバスクラブの中でも屈指のクラブに成長して参りました。これは諸先輩が積み上げてきた大きな実績であり、引き続きこの路線を継承して参ります。

一方、周年記念の中間期にあたる今期は、足元を見つめ直し次の展開への基盤を固める年度でもあると考えます。その自覚の基に次の施策を掲げ取り組

んで参ります。

その 1: 業務の分析に基づく、クラブ収支バランスの再構築。

その 2: 会員の年代や経歴の広がりを越えたコミュニケーションの活性化。

その 3: クラブ運営における奉仕や協調・協同の精神のレベル・アップであります。

2018～19 年度テーマ

語り合おう！

そして楽しく豊かなクラブライフを！

具体的な目標

- 1: 会員数 70 名復帰を目指す。
新会員、休会者、例会欠席者のケアを強化する。
- 2: 例会の食事時間を確保し、その中で会話を合わせて楽しむ工夫をする。
- 3: 「プロバスだより」、「学習サロン・抄録」の作成
負荷軽減を工夫する。
HP 改革に資するため、会員によるページ・ビュー回数を増やす工夫を行う。
情報流通やコミュニケーションの第 2 ツールとして、メール利用を推進する。
- 4: 出席率の低下に鑑み、移動例会（野外研修）のあり方を点検する。
卓話は多くの会員が披露できるような工夫をする。
同好会活動を会員間の親睦・コミュニケーションの場として活性化する。
- 5: 生涯学習サロンは伝統を維持し、サロン会員の開拓を行う。
- 6: 「宇宙の学校」は、地域奉仕の第 2 の柱として会員全員で支援する。
- 7: 近隣クラブとの交流を通じて学ぶべき所を吸収する。
- 8: 印刷関連ノウ・ハウの蓄積・継承を中心として、経費節減策を推進する。
- 9: 12 月を目途に創立 25 周年の準備を開始する。

4. バースデーカード贈呈

馬場会長より、恒例の池田会員手作りのバースデーカードが 7 月生まれの会員に贈られました。写真左から（会長）、浅川、有田、岩島、高取、濱野の各会員。（敬称略）

Happy Birthday!! おめでとうございます!!



5. 幹事報告

寺田幹事

・7月12日現在の会員の平均年齢は80.3歳。プロバスの今後の運営には若返りが急務になっています。若い会員の勧誘に向けて皆さまのご協力をお願い致します。



・備品、資料、新入会員配布物などの保管場所、責任者などについて今後見直しを致します。

・当面席札、会員連絡ボックスの名前、ハッピーコイン申

請用紙の管理責任者は例会委員会、そして、名札、名刺の管理責任者は会員委員会としました。

6. 各委員会活動報告(新年度活動方針)

(1) 例会委員会

池田委員長



例会出席状況は開会時報告の通りです。本年度は次のように活動します。

① 受付・配席・資料配布・集金の分担を決め、各委員が役割を確実に実行する。

- ② 受付時にハッピーコインの呼びかけをする。
- ③ 会場の配席を工夫し、交流が深まるようにする。委員会単位、自由席、委員会混合席など。
- ④ 会食の時間を十分にとる。ハッピーコインを披露する副会長、受付担当もゆっくり食事ができるような時間配分にしたい。
- ⑤ 連絡ボックスの見直し、会全体の資料ボックスの整理をする。
- ⑥ 前年の経験から、改善すべき点があれば提案して下さい。

(2) 情報委員会

持田委員長

・情報誌「プロバスだより」・「学習サロン抄録」をより良い品質に上げるために情報委員全員が日々

研鑽し、協力し合い、総力で取り組む。

・定例会議を開催し常に委員相互の情報を共有し、業務作業の効率化・省力化を図る。



1:「プロバスだより」、「学習サロン抄録」の作成省力化・推進

① 年間計画表(別紙)に基づき、原稿の依頼、集約を計画的に進め、すべての情報をデータで授受するように努める。

② 情報誌の編集はできるだけフォーマット化を図り、作業の効率アップを目指す。

2: HP改善とクリック回数増大化

① プロバスだよりや抄録のデータだけでなく、プロバスのトピックスなどについてもHPに掲載し、多様化を図る。

② ページビュー回数を適宜公開する。(例会などを活用し報告)

(3) 会員委員会

岡本委員長



当クラブ運営上適切な会員数と活力維持及び発展的存続のためにも会員数は70名台が必要です。新会員の増員を皆さま方のご協力を頂き意欲を持って会員数70名復帰の目標達成に努

める。

- ① 今期の期首スタート会員数は64名で70名以上の体制にするため、新会員の増員を図る。
- ② 現在女性会員数は14/64で比率は21%であり、更に女性会員の比率増を推進。
- ③ 新会員の「声掛けキッカケ運動」を例会委員会と共に推進し、休会会員、欠席会員のケアに努める。
- ④ 生涯学習サロン一般会員の受付及び集金時のスムーズな事務の流れに努め、更に「オモテナシ心」をもって対応する。
- ⑤ 会員委員会に伴う主管データの管理及び資料整備を図る。(会員のメールアドレスなど)

(4) 研修委員会

有田委員長

会員の多様性を強みとした有意義な活動を推進する。従来からの研修委員会の事業を継承すると



共に、次への発展に繋がる活動も新たに展開する。

1. 卓話

- ・新入会員の自己紹介を兼ねた卓話を主体とする。

- ・近隣のプロバスや諸団体との

交流の場となるよう工夫する。

2. 野外研修

- ・本年も昨年と同様に訪問先を八王子周辺に絞り、無理のない行程にし、更なる参加者の増大を図る。

3. 出前講師の派遣

- ・今後の地域貢献活動の一つとなるよう、出講先をクラブ自ら開拓していく。

- ・実績を上げるため、出講先についても学校等に絞ることも検討する。

4. 同好会の活性化

- ・同好会の活動を通じた交流・交歓を一層進める。

- ・新たに有志による自主学習グループを立ち上げ、年間を通して継続学習していく。

- ・学習成果は、「卓話」において会員間で共有を図り「学習サロン」「出前講師」等で報告していく仕組みを構築する。

(5) 地域奉仕委員会

一瀬委員長

「楽しく豊かな学習サロン」を通年コンセプトとして3週12講座・2特別講話をバランスよく魅力あるテーマで構成していきます。また受付体制など運営面の見直しも進めます。野外サロンは厳しい運営



になってきていますが一般会員を重点に「無理のないかつ行ってみたい場所」を選定して実施いたします。補助金減になっていますが赤字を出さないマネジメントで対処いたします。登録

料を据え置きますので110名以上の一般会員を集める必要があります。

プロバス会員皆様の強力なバックアップをお願いいたします。

(6) 交流担当

田中担当理事

我がクラブは「生涯学習サロン」や「八王子宇宙の学校」等、ユニークな活動を継続してきており、誇りに思っていますが、他のクラブにも参考にすべき活動が沢山あると思います。これらを謙虚に学ぶべく、

出来るだけ多くのクラブとの交流を図っていき、皆さんにお伝えしていきたいと思います。



(7) 全日本プロバス協議会

立川富美代



今年の全日本プロバス大会は三重県四日市市で開催されます。八王子プロバスからはグループ参加はしない方針で、私一人で出席する予定です。今年度も宜しくお願い致します。

(8) 宇宙の学校

下山PJリーダー

①「宇宙の学校」支援の会として皆様の金銭的ご支援の受付を開始いたしました。実はただいまから馬場会長の支援の会代表としての要請のお言葉を頂戴するのですが、例年のことですので受付を始めさせてもらいました。例会終了後も受け付けますのでよろしくをお願いします。

② 人的ご支援を登録して頂いている方にはこのようなフリップで確認させてもらっています。誤りがありませんでしたらご連絡ください。追加も受け付けます。



③「宇宙の学校」PJとしての年度方針は、実行計画がすでに定まっています。その確実な実行が第1。又次年度は応募多数への対応として変革があります。次年度計画の立案が第2。この二つが大切な方針ということになります。

7. 宇宙の学校支援の会

代表 馬場会員

八王子「宇宙の学校」支援の会代表の馬場です。会員各位には八王子「宇宙の学校」の運営、実施にあたり、財政面、活動面で様々なご支援を頂き改めて感謝申し上げます。今年度も引き続きご支援をお願いする次第です。活動面でのご協力を頂ける場合は「宇宙の学校」の下山PJリーダーには是非ご相談下さい。

8. プロバス賛歌斉唱

9. 閉会

飯田副会長

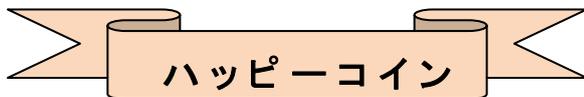


新年度の総会も滞りなく無事済みしました。

審議お疲れ様でした。これからの1年間会長方針である「語り合おう！そして楽しく豊かなクラブライフを！」

により添って楽しい、ゆったりとした活動をしたいと思えます。会長方針を踏まえ各委員長・リーダーの活動方針も発表されました。

本日は年度初めにふさわしい例会となりました。どうぞ皆様今年度も変わらぬご支援をよろしくお願い致します。これから、ますます厳しい天気が続きます。くれぐれも健康にはご留意なされ8月9日にはお元気な姿でお目にかかれまます事を願っております。本日は誠にありがとうございました。



- 癌の手術で2ヶ月近い入院を余儀なくされましたが、生きながらえて退院しました。又のご交誼をお願いしてコイン10枚 渋谷文雄
- 7月7日七夕にシニアダンディーズは老人施設「檜の里」に慰問演奏に出ました。幼稚園園児からお年寄りまでの皆さんに合唱・管楽器の演奏を聞いて頂き、みんなと歌い楽しい七夕でした。また次々に演奏依頼があり忙しいです。立川富美代
- 武田前会長はじめ前期役員の皆さまありがとうございました。会員の高齢化やクラブ財政の窮屈化など難しい情勢のなかで、ご苦労が多かったと思えます。馬場会長はじめ新役員の皆さま引き続きよろしくお願い致します。佐々木研吾
- 馬場会長の新年度の活躍を願って！ 永井昌平
- 又1年、プロバスの皆さま宜しくお願い致します。浅川文夫
- 本日、馬場会長より八王子「宇宙の学校」支援の会への協力のお願いがありますので、皆さまどうぞ宜しくお願い致します。杉山友一
- 理事役員の皆さま、馬場会長年度のスタートを祝して！！ 杉山友一
- 6月28日のNHKテレビ朝7時のニュースで

義弟佐々木正美が8分間にわたり放映されました。彼は児童精神科医で子育てに悩む多くの母親を癒し、一周忌を迎えた今もその著書が良く売れているというニュースです。 岩島 寛

- 7月4日健康に恵まれ、無事に83歳の誕生日を迎えることができました。感謝です。1日1日を大切に生きて行かねばと念じています。 岩島 寛
- 2018年度の幹事を務めさせていただきます寺田です。宜しくお願い致します。自分たちで出来る事は自前化するという事で、まったく不慣れな各種印刷物のテンプレート作りを勉強しながら楽しくやらせて頂きました。 寺田昌章
- 「宇宙の学校」順調なスタートで、快調に走り出しています。ご支援ありがとうございます。 下山邦夫
- Happy Birthday 今年も誕生日を迎えた。家族・身内の協力で楽しみが増えている。健康で長生きはするものだ。 濱野幸雄
- 今年も平和展を8月2日から実施します。戦跡マップを3会場に用意しています。ぜひ、お出かけください。 広瀬智子
- 総会開催、馬場年度の旅立ちをお祝い致します。 武田洋一郎
- 澤渡様のお母様の茶道具が私家に頂きましたので、茶の会「しのぶ会」にご夫婦をお呼びして一服差し上げる事出来ました。 阿部治子
- 今年度会員委員会の委員長を仰せつかりました。会員増員に皆さま方のご協力とご指導ご鞭撻よろしくお願い申し上げます。 岡本宝蔵
- 馬場丸の船出をお祝いします。 戸田弘文
- 西日本豪雨災害、胸が傷みます。心からお見舞い申し上げます。 有泉裕子
- 永らく休会しておりましたが、今回から出席致します。 竹内賢治
- 「語り合おう」をモットーに、一年間取り組んで参ります。ご協力を宜しくお願い致します。 馬場征彦
- 副会長のお役をお引き受けすることになりました。馬場会長を微力ながらお支えしてまいる所存です。どうぞ宜しくご支援ご協力をお願い申し上げます。 飯田富美子

- プロバスだより 272 号をお手許にお届けすることができ、これでようやく少し開放された思いです。これからは他クラブの勉強をするよう努力します。 田中信昭
- 6月15日に満80歳を迎えました！晩婚なので、2人の孫がまだ7歳と5歳です。然し、彼らが成人するまで元気でゆきたいです。まず、最初のハードル、「癩痕ヘルニア手術（6月下旬）」がクリアできました！！ 山形忠顯
- サッカー日本代表 決勝リーグでは敗れたものの1次リーグでの健闘にエールを送ります。 山口三郎
- 新たな年度の生涯学習サロン企画がスタートしました。「楽しく豊かな学習サロン」を目指します。全員の皆さまの絶大なるご支援宜しくお願い致します。 一瀬 明
- 平成30年度の初会合で副幹事として緊張して業務に当たっております。皆さま宜しくお願い致します。 大澤敬之
- 知人が居ない八王子に引っ越して間もなく、プロバスクラブの皆さまの仲間に入れて頂き有難うございます。このご縁を大切にしていきたいと思ひます。宜しくお願い致します。 深谷正徳

「宇宙の学校」開催報告 下山PJリーダー

***6月24日(日) 本部会場 (市教育センター)**

開校式 安間英潮教育長・挨拶、開校宣言
 受講ガイダンス・指導 KU-MA講師
 山下法昭先生、菅雅人先生 実験工作



- 風見鶏効果を調べよう
 - 傘袋ロケットを飛ばそう。
- 参加者 73組 (登録76組)

“ほら、風の向きをとらえるぞ！”

***7月8日(日) 東京工科大学会場**

第2回スクーリング

指導、KU-MA講師 山下法昭先生、菅雅人先生

実験工作 ● 風見鶏効果を調べ、傘袋ロケットを飛ばそう ● 熱気球を作って打ち上げよう。参加者 86組 (登録90組)



“熱気球に面白い絵を描いて飛ばすぞ！”

***7月14日(土) 都立八王子北高校会場**

開校式 安間英潮教育長・挨拶、開校宣言
 第1回スクーリング・指導 KU-MA講師

山下法昭先生、菅雅人先生
 実験工作 ● ホバークラフトを作ろう



参加者 36組 (登録43組)

“うまく走ったよ、とても楽しかった！”



私の愛車遍歴 その① 立川富美代

とうとうその日が来ました。それは免許証返上の日です。27才～86才まで大好きな車で走りまくり、飛ばしまくりましたが、無事故無違反の優良ドライバーでした。

最初はスーパーカブと言うバイクですが、これは免許を取り新車も買い乗り始めたのに、1時停止をす



ると足が届かずバイクを横倒しするようになります。

「見てられないよ」と亡夫に乗車禁止令を言われて、それ

ならと最初は中古のルノーに乗りました。1948年型の前後のバンパーの広いしかもノーマル車。ウインカーは手動、エンジンをかけ外すとボンネットを開けてクランクをしないと動かない代物。

それでも小さかった子どもを乗せてあちこちドライブしましたし、仕事でもフル活動でした。右折が怖くて左折左折の道を探して走りましたね。せまい車に子供を6人乗せて、交番の前は伏せ～と言いながら動物園に行ったことも。ある日大和田の石川町入口の広い道でトラックを追い越したら、すごい勢いで幅寄せされて真っ青になりました。あれ以来大きな車は絶対追い越せないと思ひました。

やっと一人前のドライバーの気分になり最初の新車はトヨペット・コロナ。紺色でピカピカしていました。まだノークラッチなどとはなりません。以来トヨタさんとは縁が切れず、車検の度に新車にしました。58年の間に何台車を変えたか分かりませんが、殆どがコロナでした。運転は大好きで、名古屋の父母の所は何時も車ですつとばし。京都の取引先に行くのにはさすがに新幹線にしましたが。

トヨタの車の間に一寸浮気もして、三菱コルトのバンに乗ったことがあります。

大変エンジン音の静かな車で、仕事の荷物を載せて毎日相模原までと、反対向きの昭島のレナウンに通いました。エンジン音の静かな車は運転している気分がなくてつまらない。2年も乗らないでまたコロナに変えました。その頃にはノークラッチの車も出始め、それを購入したのですが、余りにも運転がつまらなく、しばらくはしっくりしませんでした。それ以来はもう時代が違うからとあきらめたのでした。どうもスピードを上げるときが気に入りませんね。スポーツカーでも買えば満足出来たかもしれません。

(次号に続く)

8月の追憶

渋谷 文雄

*昭和20年7月末の某日、僕らは関東軍の配属武官、今井大佐と副官山口中尉による軍事教練の査閲を受け、完全武装のもと着剣した38式歩兵銃を両手で支え、土埃と汗まみれの匍匐前進中であつた。やがて突撃の命令で喚声をあげ藁人形に突進した。講評の後に蛸壺掘りの実習があり敵戦車の胴体に爆薬を仕掛ける訓練が続いた。



イメージ写真

*訓練が終わると4列縦隊を組んで軍歌を歌い・・・花も蕾も若桜、今こそペンを投げうって国の大事に殉ずるは、我ら学徒の本分ぞ、ああ、紅(くれない)の血は燃ゆる！ 宿舎へ。

*この頃、佐官クラスの軍人と日系政府高官の家族は密かに日本に向けて引き揚げ移動中であつたと言う。

*8月9日早朝、ソ連軍が突然、北と東の国境を越え満州全土に侵攻してきた。空爆に加え重量級戦車を先頭に兵員を乗せたトラックが土煙をあげて殺到、主要都市を制圧し、これに対応する関東軍の精鋭はすでに南方戦線に移動し急遽召集した補充兵に与える武器も不足、残存勢力は満州南東の山岳地帯に集結しソ連軍に対応する戦略であつたと聞かすが、すでに遅く8月15日あらかたの地域にソ連軍は進攻してきた。

*天皇によるポツダム宣言受諾の放送は聞く機会がなかったが、「学徒は解散、それぞれ工夫して帰国せ

よ」との指示により朝鮮経由の帰国を目指し行動を始めたが、南下する列車は憲兵が支配、軍人とその家族が優先して乗車、一般市民は取り残された。

*侵入してきたソ連兵は自動小銃(マンドリンと呼んだ)を胸に下げ、辺り構わず発砲し略奪、婦女子の強姦など、ほしいままに行動し、掴まえた女性をその軒下で強姦、助けを懇願する母親をその場で銃殺するなど暴虐の限りを尽くし、女性たちは髪を切り男装するなどしたが、彼らの暴虐は止まなかった。

*逃避行は昼間に山中を行き、夜間に道路を急ぎ移動したが、暴民に襲われて荷物の一切を盗られた人や、中国人に連れ去られた婦人や子供たちも多く、朝鮮との国境、安東の街まで辿り着けない人も多くいた。

*9月初め漸く辿り着いた朝鮮との国境はすでに閉鎖、朝鮮経由の帰国は不可能。安東郊外に残留していた日本人開拓団の用心棒として住み込んだが、暴徒に再三にわたり襲われ額と左足に切り傷を受け、今も傷跡が残る。

*その後、中国の内戦(毛沢東と蒋介石)に巻き込まれ、8年間の抑留を経て昭和28年11月、舞鶴に帰国したが、今、敗戦の8月から73年が過ぎ、戦後生まれが古希を過ぎたと言う。改めて敗戦の8月を追憶し、平和のありがたさに感謝している。

「動植物と私」

土井 俊玄

幼少の頃より動植物が好きだった私は言ってみれば、今よく使われている言葉の“オタク”的な性向の持ち主だつたのではないかと思います。小学校の頃はどちらかと言えば動物の方、中でも兎とか鶏などの小さな動物を飼育愛玩するのに夢中になっていました。そのため学校の勉強など見向きもしませんでした。中学生になってからは野鳥にのめり込んで、鳥籠を竹ひごから自分で作ったり播餌(すりえ・人工の餌)を自分で調合して与えたり春にならないと囀らない鶯を冬の最中の正月元旦に床の間において鳴かせて悦に入っていたものでした。勿論学業の方は全く疎かになっていました。大人になってからも野鳥には未練がありましたが、自然保護、環境保護のもと諸法律により禁止になりましたので、植物の方に切り替えました。

前々から薔薇が好きだったので、千葉の京成バラ

園から苗を取り寄せ 20~30 種を庭に植えたり、鉢植えて楽しみました。しかし、教職の方が多忙を極めるようになって害虫と病気に弱い薔薇は消毒殺虫に手が回らず止めざるを得ませんでした。今でも思い出すのは、花の色、形にすぐれ、ダマスクの香りの強いダブル・デイライトと言う種名の赤色と黄色の微妙な色合いの花は大変素晴らしいものでした。

そこで、あまり手のかからない花で薔薇に代わる美しい花はないかと思案中に深大寺の植物園で毎年開かれている椿展があることを聞き、さっそく父を車に乗せいそいそと出掛けました。そこでおさない椿の苗を購入し、ついでに椿の本も買いました。この本は「椿の栽培の仕方」で著者は日本椿協会・会長を務めた神奈川県教育委員長をも務めた鈴木憲一という人でした。この本ですっかり椿の魅力にとりつかれてしまい、同好の士と共に車で名古屋まで椿



を買に行ったり、九州の久留米から苗を大量に取り寄せたり、また、時には武蔵境の日赤病院近くにある舟木園に行って苗木を買って来たりするようになりました。その間、「八王子つばき同好会」の結成に尽力し、今は三代目の会長をやっています。

かつて大丸デパートがあった時には4階の小さい部屋を借りて「椿展」を開催したこともありました。また、高尾電鉄のご好意で猿山の中の小さなギャラリーでも展示会と苗木の販売などをした事が思い出されます。

ところで、私は10月の誕生日が来ると83歳になります。この命はどうなってもおかしくない年であるのに2年先、3年先の花を夢見て種を蒔いたり挿し木をしたりしていることはどうなのかと思う事があります。巷では高齢になるにつれて断捨離をすべきという人がいますが、この言葉は「どうせ死ぬのに何故生きるのか」と言う問いにつながると思うのです。でも、死ぬという事は生命を燃やし尽くすことだから、それを苦悩としない限りいつ死ぬか分からないから、何もしないでおこうなどと考えるのは愚かな事のように思います。



私の一句~七月の句会から

河合 和郎

七月は殺人的な猛暑の毎日。句会の当日も暑かったが、メンバーの意欲は暑さに負けていなかった。心頭滅却ぶりの作品を紹介しよう。

不穏なるガイアの気配大鯨 馬場 征彦

ガイアは大地の女神。火山噴火、大地震、豪雨、熱波等々地球の様子に変調が。鎮まれ大鯨よ。

牛の乳喉通りゆく夏の朝 渋谷 文雄

病院の朝に「牛の乳」を飲んで生を実感すると作者。牛の乳に宿る命を頂いて元気に句座へ参加。

梅雨明けや亀甲羅干し鯉躍る 山形 忠顯

さあ我が世の春。湯殿川は賑やかに。何しろ鯉が躍るくらいだから。作者は俳句を楽しんでいる。

蜘蛛の巣に面を取られて後戻り 東山 榮

高点句。誰にでも経験のある事件を一句に。「面を取られて」の表現がいい。実はこの後始末が大変。

夏没日のたりと磯の舫い舟 矢島 一雄

高点句。夏の日暮れ時の物憂い浜の様子を詠む。蕪村の「春の海終日のたりたりかな」に対比。

東の間の涼風価五千両 池田ときえ

俳諧を極めるところなる。昨今の猛暑の中で「涼風」に生きかえる心地が。芝居がかって面白い。

出番待つ朝顔市のつる手入れ 田中 信昭

朝顔市の売り手の心境への着眼がいい。朝顔に最後まで気を配る「つる手入れ」の措辞が生きている。

廃寺跡青田となりて風亘る 飯田富美子

長い戦国の足跡を各地に刻む武田の里の景とか。栄枯盛衰の歴史を感じさせる光景を一句に。

ミニトマト五日見ぬ間に赤くなり 立川富美代

「世の中は三日見ぬ間の桜かな」に負けじ、ミニトマトの赤で勝負。俳句的滑稽を楽しむ作者。

入道雲がっぷり四つに富士の峰 河合 和郎

もくもくと湧き上がる入道雲と揺るぎなく立つ富士山が大相撲を。こんな一番も俳句の世界では可能。

編集後記： 熊谷で日本新記録 41.1 度が出た猛暑の最中に本誌編集を初めて担当したことはこの夏の良い思い出になりました。8月号は盛り沢山のハッピーコインメッセージと寄稿を頂き皆さまに感謝・感謝です。 持田律三